

# 令和8年度 第1回 大府市交通安全対策会議 議事概要

日 時：令和8年5月15日（金）  
10時00分～10時50分  
場 所：大府市役所 全員協議会室

## 【 出席者 】

会 長：岡村秀人（大府市長）

委 員：佐藤太造（国土交通省中部地方整備局名古屋国道事務所名古屋国道維持第三出張所）、横山貴也（代理：愛知県知多建設事務所）、林下京子（愛知県道路コンセプション株式会社）、太谷肇仁（東海警察署交通課）、土井正明（東海大府交通安全協会大府分会）、久野百合子（ゴールドクラブおおぶ）、深谷節子（大府市身体障がい者福祉協会）、荻由希子（大府市小中学校PTA連絡協議会）、山内 とよ子（大府市地域婦人団体連絡協議会）

幹 事：小林木綿（文化交流課）、深谷雄紀（高齢障がい支援課）、横山祐子（代理：幼児教育保育課）、久野倫太郎（こども若者支援課）、竹嶋雅人（都市政策課）、乗京和生（都市政策課）、清水良（市街地整備室）、近藤宏幸（道路整備課）、鈴置弘（水緑公園課）、原田亮男（学校教育課）、浅田和貴（消防総務課）

事務局：中村浩（市民協働部長）、中村秀人（危機管理課長）、中村大樹（危機管理課生活安全係長）、宇佐見裕哉（危機管理課生活安全係主任）

欠席者：山田栞菜（公募委員）

傍聴者：なし

## 議事

- 司会 危機管理課長
- 議長 大府市長（会長）

### 1 会長あいさつ

#### 【会長】

本市における交通死亡事故状況ですが、直近では本年3月に交通死亡事故が発生し、遡ると、令和5年から4年連続で交通死亡事故が続いている。このような状況を踏まえ、東海警察署など関係団体の皆様と協力し、啓発活動を行うほか、安全な自転車利用に向け、自転車利用時のヘルメット着用を促進するため、購入

費補助制度というのを実施している。また本年4月に、道路交通法の改正により制度が開始された、交通反則通告制度（青切符制度）の周知啓発を進めている。制度開始の最初の月である4月には、愛知県内の青切符交付件数は250件ほどあるということで、自転車の利用者の交通ルール遵守の徹底が、強く求められている。そのほかにも、大府市としては自動車学校と連携した高齢ドライバーの運転技能の向上講習、タクシー料金助成等による運転免許自主返納の支援など、各種の交通安全の関連事業を実施し、交通安全対策の一層の推進に努めているところである。

今回の対策会議では、令和8年度交通安全実施計画について、それぞれの立場から御意見を頂き、具体的な事業に反映させていただきたいと考えているので、よろしく願います。

## 2 協議事項

令和8年度大府市交通安全実施計画（案）について  
事務局及び関係幹事による資料説明

### 【委員】

外国人を対象に交通安全の普及活動をされているという中で、事故が起こると原因者にその損傷復旧を負担していただくが、外国人の方の保険加入率は低いため、その後のやりとりが非常に停滞することが多々ある。

保険加入の勧めを積極的に行っていただいていることは、非常にありがたい

### 【委員】

若い方や高齢者の方、外国人の方がスマホのナビを使い、誤って有料道路に自転車等で進入してしまうことが増加している。啓発活動実施時にこういった事例も周知いただけるとありがたい。

都市政策課において、バスを増便されたとのことだが、市民からの意見だったのか。

### 【都市政策課】

通院や買物の移動支援に対する要望が多かったため、それらに特化した拡充を実施した。

### 【委員】

交通安全協会としては、特に啓発活動について協力させていただいておりますが、ご説明いただいて大府市の取組と、噛み合った取り組みを積極的に進めていく。

### 【委員】

有料自動車道に誤って侵入する事例は多く感じるので、注意喚起したいと思

う。

【委員】

令和7年度の実績について、柘山町の事故に対して、早々に対応していただき助かった。今後も危険箇所について、早期に共有させていただくので、迅速に対応いただけるとありがたい。

【委員】

高齢者の移動支援について、年齢要件を85歳から80歳に引き下げさせていただいた件について、多くの方が感謝している。大府市の方でタクシーがすぐ捕まるよう環境整備していただけると免許返納しやすい環境となるかと思う。

【高齢障がい支援課】

今年度からタクシーチケットの取扱い事業者を1事業者と増やさせていただいた。加えて事業者にタクシーの確保のお願いをさせていただいている。引き続き、利用しやすい環境を整えるよう努めていく。

### 3 報告事項

大府市の交通事故情勢について

【東海警察署】

令和7年の交通事故について、愛知県内の交通事故による死者数は112人となり、交通事故統計開始以来最少となった。県民・市民の交通安全意識の高まりを感じる一方で、決して少ない数ではないと認識している。

大府市では交通事故による死者数は1人で、前年と比べて1人減少した。県内全体で交通事故死者数が減少しているものの、人身事故件数は増加している。大府市内でも同様の傾向が見られる。

本年の状況については、5月14日現在、愛知県内の交通事故死者数は50人で、前年同期比13人増となっており、神奈川県、東京都に次いで全国ワースト3位という厳しい状況にある。

東海警察署管内では、3月18日に大府市内で交通死亡事故が発生し、1人が亡くなった。また、5月13日には東海市内で、歩行中の方が後方から来た車にはねられ死亡する事故が発生した。いずれも高齢運転者による夜間の事故であった。

大府市内では、本年4月末現在の人身事故件数は99件で、前年同期比12件増加している。物損事故は898件発生しており、前年同期比63件増となっている。人身事故の発生時間帯では、通勤・通学時間帯である午前7時から9時、午後3時頃に増加が見られるほか、昼頃や帰宅時間帯である午後7時から9時にも増加傾向が見られる。また、年齢別では小学生や中学生の負傷者が増加傾向にあり、子どもたちの安全を守るための対策を進めていく必要があると

考えている。

4月から始まった「青切符制度」については、交通ルールそのものが厳しくなったわけではなく、交通違反に対して簡易な手続で処理できる制度が導入されたものである。交通ルール自体に変更はないため、その点を理解していただきたい。警察としては、特に高校生を中心とした通学利用や、通勤時の駅までの移動などで自転車利用者が多いことから、学校等における自転車教室の開催を通じて交通ルールの周知や指導を進めていきたいと考えている。

こうした活動を通じて交通安全を推進し、交通事故が1件でも減らせるよう、積極的に取り組んで行くため、今度とも御協力をお願いします。

(閉会)